

推薦書類記載要領

様式第 1 号 被表彰候補者推薦書

1 「氏名」欄

戸籍に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付けること。特に旧字、新字、略字等は正確に記入すること。

2 「本籍」欄

省略せず正確に番地まで記入すること。

3 「住所」欄

郵便番号、現住所及び電話番号を略さずに記入すること。

4 「生年月日」欄

年齢は、令和 9 年 1 月 1 日現在の満年齢を記入すること。

5 「職種名」欄

被表彰候補者が従事する職種を、別表に例示している職種（2）欄を参考に記入すること。

6 「事業所名」欄

雇用されている場合にあつては雇用事業所名を、自営している場合にあつては屋号等を正確に記載すること。

7 「所在地」欄

郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入すること。

8 「従事年月数」欄

令和 9 年 1 月 1 日までの従事年月数を記入すること。

9 「推薦理由」欄

推薦理由を記入すること。

様式第 2 号 履歴書

1 「表彰職種に係わる職歴及び団体歴」欄

(1) 「職種・職名等」欄には、就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等の異なるごとに記入すること。

なお、団体歴のうち、本表彰と直接関係がないものは、記入しないこと。

(2) 「在職期間」欄には、その職の始期及び終期を記入すること。

なお、現職については、令和 9 年 1 月 1 日をもって終期とすること。

2 「表彰」欄

表彰（技能に関連して被表彰候補者本人が受けた者のみ記入すること。）の種類ごとにその事由と表彰年月を記入すること（表彰を証する書面の写しを添付すること）。

3 「免許・資格等」欄

免許、資格、特許及び実用新案等を有する者についてはその種類と取得年月を記入すること（免許等を証する書面の写しを添付すること）。

また、技能検定に合格している者については、技能士の名称（〇級〇〇技能士）を必ず記入すること。なお、普通自動車運転免許等、本表彰と直接関連がない免許資格等は記入しないこと。

様式第3号 卓越技能の概要

審査委員が具体的に評価する資料であるので、その卓越性を的確に把握し評価できるよう、具体的かつ分かりやすく記載すること。一般的でない用語等については、ふりがなを付すとともに、簡単にわかる用語の説明資料（任意様式）を添付すること。

1 「技能の卓越性」欄

被表彰候補者の従事する職種、技能の水準、範囲、特徴あるいは他の技能者との比較等の観点から卓越した技能を有する者であることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に記入すること。

記述にあたっては、客観性（単に「非常に優れている」ではなく、どのように優れているのか数値で表す等）、明確性（改善実績における本人の技能の明示等）を心がけること。

2 「産業振興度社会的評価」欄

企業、産業界及び社会に対する貢献度等において高く評価されているような代表的な事績について具体的に記入すること。

様式第1号（第4条関係）

令和〇年〇月〇日

北上市長 八重樫 浩 文 様

〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇〇〇組合
組合長 〇〇 〇〇 印

被表彰候補者推薦書

次の者を、北上市技能功労者表彰規則に基づき、表彰されるよう関係書類を添えて推薦します。

記

被表彰候補者

1 氏 名	〇〇 〇〇
	〇〇 〇〇
2 本 籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇地割〇番地〇
3 住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇地割〇番地〇
4 生 年 月 日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 満 〇〇 歳（令和9年1月1日現在）
5 職 種 名	〇〇〇〇（別表 職業部門、職業分類及び職種（例示）職種（2）を参考にしてください）
6 事 業 所 名	〇〇株式会社〇〇工場
7 所 在 地	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇地割〇番地〇
8 従 事 年 月 数	〇〇年〇〇月（令和9年1月1日現在）
（ 推 薦 理 由 ）	上記の者は、特に〇〇〇〇〇の技能に優れており、その経験と研究の中から〇〇〇を生み出した。また、幾多の改善による生産性向上及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。

履 歴 書

ふ り が な	〇〇 〇〇			写真貼付 (7.5 cm × 5 cm) (縦長、上半身、正面、脱帽)
氏 名	〇〇 〇〇			
生 年 月 日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳) 男・女			
本 籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇地割〇番地〇			
現 住 所	〇〇県〇〇市〇〇町〇地割〇番地〇			
最 終 学 歴	〇〇高等学校〇〇科 (昭和〇〇年〇月〇日卒業)			
表 彰 職 種 に 係 る 職 歴 及 び 団 体 歴	職 種 ・ 職 名 等	在 職 期 間	在 職 年 月 数	
	■ 職 歴 〇〇株式会社〇〇工場 〇〇〇〇工 同 工場長	S40. 4. 1～H10. 3. 31 H10. 4. 1～H18. 11. 9	33 年 0 月 8 年 7 月	
	■ 団 体 歴 〇〇技能士会理事	H14. 4. 1～R9. 1. 1	24 年 9 月	
現職については、令和 9 年 1 月 1 日を終期とする				
表 彰	表 彰 内 容		表 彰 年 月	
	1 〇〇県職業能力開発協会会長賞表彰 技能検定の推進貢献について表彰 2 〇〇〇〇表彰 〇〇〇〇〇の開発		昭和〇〇年〇〇月 平成〇〇年〇〇月	
免 許 資 格 等	免 許 ・ 資 格 等 名		取 得 年 月	
	1 技能検定 1 級〇〇〇技能士 1 級△△△技能士		昭和〇〇年〇〇月 昭和〇〇年〇〇月	
	2 職業訓練指導員免許 (〇〇科)		昭和〇〇年〇〇月	
	3 特許□□□□ (〇〇用〇〇装置の考案)		昭和〇〇年〇〇月	

卓越技能の概要

技能の卓越性	〇〇〇の製造に長年従事し培った知識・技能を有しており、特に〇〇〇技能に優れている。 当人は〇〇〇技能を習練し、その経験と研究の中から〇〇〇〇技能を生み出した。〇〇に使用されている〇〇〇は、その技能が基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。
産業振興度 社会的評価	〇〇〇〇の製作において、〇〇〇の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、〇〇〇の〇〇〇にも用いられ、〇〇〇産業事業の拡大に貢献した。
発明・考案等 の実績	〇〇〇の高い製作技能を活かし、〇〇用〇〇装置の早期製品化を果たした。（昭和〇〇年〇月〇日特許□□□□） また、その技能は、〇〇会社向け〇〇用〇〇の製品化にも生かされ、〇〇〇においても多大な貢献を果たした。
後継者育成	〇〇〇の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに〇名を合格させ、県技能競技大会において1位入賞者〇名を輩出した。 また、技能検定補佐員として〇〇年にわたり尽力し、〇〇年から検定員として検定の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。
表彰の実績	〇〇〇賞などの他、履歴書記載のとおりであり、表彰の実績は数多くある。 特に、平成〇年全国〇〇〇研究会発表における〇〇〇の技能を活かした〇〇用〇〇装置の製品化の論文発表は、海外からも高い評価を得ている。

卓越技能の概要

技能の卓越性	〇〇〇の製造に長年従事し培った知識・技能を有しており、特に〇〇〇技能に優れている。 当人は〇〇〇技能を習練し、その経験と研究の中から〇〇〇〇技能を生み出した。〇〇に使用されている〇〇〇は、その技能が基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。
産業振興度 社会的評価	〇〇〇〇の製作において、〇〇〇の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、〇〇〇の〇〇〇にも用いられ、〇〇〇産業事業の拡大に貢献した。
将来性	長年にわたり第一線で活躍しており、さらに就業後は協議会参加のための訓練に励んでいる。同時に同僚、後輩の指導育成にも力を入れており、その結果職場内において技能が飛躍的に向上し、平成〇年度〇県〇〇競技会において〇〇賞を含め〇名が上位入賞を果たした。 このように指導者としてもすぐれた資質を有しており、企業内にとどまらず、県内外の指導的役割を担うものとして、今後が大いに嘱望されている。
人物評価	協調性に富み、技能研究心旺盛であり、技能五輪優勝以来、後輩の技能向上に積極的に自ら指導する態度に進歩した勤務状態は顕著である。 また、温厚誠実な人柄と責任感の強さがあり、部課、上司はもとより社外関係者から熱い人望のある好人物である。
表彰の実績	〇〇〇賞などの他、履歴書記載のとおりであり、表彰の実績は数多くある。 特に、平成〇年全国〇〇〇研究会発表における〇〇〇の技能を活かした〇〇用〇〇装置の製品化の論文発表は、海外からも高い評価を得ている。